

林業技術センター
普及班便り
(第23回)

いわての林業人2

一 はじめに

今月の普及班便りでは、二十代から三十代の若手メンバーで構成されている東磐井地方森林組合の高性能林業機械作業班をご紹介します。



左から：金野さん、武田さん、菅原さん、勝部さん

二 人物紹介

【プロフィール】

作業班員は金野潤さん(班長)、勝部健一さん、武田一吉さん、菅原清志さんの四名。

全員が一関市大東町の出身で、金野さん、勝部さん、武田さんは地元の高校の同級生だそうです。

四名とも森林組合に入る前には市内や水沢などの企業に勤務されていたそう、皆さんが森林組合に入られたきっかけは、金野さんが「作業班に若い人がいないから」と声をかけられたこと、勝部さんは金野さんの紹介で、武田さんは勝部さんに誘われたことです。なお、菅原さんは緑の雇用対策で平成十九年に入られたとのことでした。

皆さんの趣味をお聞きしたところ、金野さんがゴルフ・海釣り・スノーボードなどのアウトドア系、武田さんがゲーム、菅原さんがインターネットなどのインドア系と対照的です。

勝部さんは五人のお子さん(一)の子育てに奮闘中とのことでした。

三 山での活動

(1) 作業システム

この作業班は平成十八年に構成され、高性能林業機械を利用した間伐での素材生産を主体に活動しています。

基本的な作業システムはチェーンソーでの伐倒、バックホウでの作業路開設、グラップルでの木寄せをし

ながらプロセッサで造材、フォワーダでトラック土場まで単幹集材を行なっているとのこと。

作業の担当を固定せず、それぞれがどの機械でも操作して作業できるように日頃から取り組んでいるそうです。



手前：グラップルが武田さん 奥：プロセッサが金野さん

(2) これからの目標

皆さんに今後の目標をお聞きしたところ、金野さんは作業効率の更なる改善、勝部さんは安全作業、菅原さんは昨年十月にこの班に入ったばかりなので、重機に慣れるのが当面の目標とのこと。

武田さんには目標とする作業班の先輩がいらっしゃるそうで、その先

輩のように、早く、丁寧、かつ仕上がりが美しい仕事ができるグラップルのスペシャリストになりたいとのことでした。

若い皆さんからは山仕事への自負と強い自信を感じられました。これからの森林整備の担い手としての活躍が大いに期待されます。



地域の間伐材利用に貢献しています！

四 おわりに

普及班便りでは、これからも森林・林業に携わるさまざまな方々を紹介していきます。

皆様の地域で活躍されている方の情報をお知らせください。

林業技術センター普及班